

MIE UNIVERSITY



三重大学概略

■ 役員	9人	■ 収入・支出予算	47,812百万円
■ 教員	751人	■ 土地面積	5,511,692㎡
■ 職員	1,224人	■ 建物面積	321,057㎡
■ 学部学生	5,960人	■ 蔵書数	947,980冊
■ 大学院生	1,084人		
■ 留学生数	204人		
■ 海外大学間協定数	25カ国・地域、66大学・機関		
■ 海外大学学部間協定数	26カ国、55大学・機関		

令和2年度学年暦

■ 入学式	4/8*	■ 後期授業開始	10/1
■ 前期授業開始	4/10	■ 後期授業終了	2/10
■ 三重大学記念日	5/31	■ 学位記授与式	3/25
■ 前期授業終了	8/10	※新型コロナウイルスの影響拡大に伴い中止	

目次

● 理念	3
● 三重大学を創る6つのビジョン	4
● 三重大学を数字で見る	5
● 運営組織	7
● 組織図	8
● 沿革	9
● 役職員	11
● 学部・大学院（専攻・講座）／ 教育研究施設等	13
● 三重大学リサーチセンター	17

《資料編》

● 職員数	18
● 学生定員及び現員	19
● 教育学部附属学校の定員等	19
● 奨学生数	20
● 令和2年度入学志願者数及び入学者数	21
● 都道府県別 入学志願者及び入学状況（学部）	21
● 令和元年度 卒業者数・修了者数・学位授与数	22
● 令和元年度就職状況	23
● 産業別就職状況（学部）・地域別就職 状況（学部）・都道府県別就職状況（学部）	25
● 外国人留学生数（学部・研究科等別）	26
● 令和元年度 国際交流事業一覧（経費助成対象）	26
● 国際交流	27
● 附属図書館	29
● 附属病院	30
● 令和2年度予算	31
● 令和元年度科学研究費助成事業及び 民間等との共同研究等受入れ状況	31
● 厚生保健施設等	32
● 土地・建物	32
● 地域との相互友好協力に関する協定等	33
● 公開講座等	33
● 三重大学地域貢献活動支援	34
● 部局等配置図	35
● 位置図	37
● 本学への交通案内	37
● 部局等所在地	38



三重大学は、伊勢湾の海、鈴鹿山脈・布引山地の樹々の緑、白い雲が浮かぶ大空に囲まれた美しい自然環境の中にあります。この素晴らしい自然に恵まれたキャンパスで、社会のリーダーとなる逞しい人材の育成、独創的で自由な発想に基づく高度な専門研究が活発に行われています。

現在の日本社会では少子高齢化、人口減少、グローバル化が凄まじいスピードで進みつつあり、都市部と地方との格差の広がり、エネルギー・環境問題の深刻化、景気・経済の不透明感など、多くの課題が指摘されています。このような困難な時代にこそ、「知の拠点」としての大きな期待が大学には寄せられています。三重大学は、その教育・研究成果を広く社会へと発信し、社会の発展・活性化のために精一杯の努力をしています。

学長 駒田 美弘

基本理念

三重大学は、総合大学として、教育・研究の実績と伝統を踏まえ、「人類福祉の増進」「自然の中での人類の共生」「地域社会の発展」に貢献できる「人材の育成と研究の創成」を目指し、学術文化の受発信拠点となるべく、切磋琢磨する。

三重の力を世界へ

地域に根ざし、世界に誇れる
独自性豊かな教育・研究成果を生み出す。
～人と自然の調和・共生の中で～



この学章の様式は、文様として人生の実りを表す稲穂と、三重大学の理念である三翠（御空、波、森）を表すための浪輪（ROURIN）文様をアレンジした形態の二重リング構造。

二つの文様を絡め二重リング構造としたのは、大学の理念と卒業生の人生の実りが永きに渡って良好な関係を持続できるようにとの願いを込めたもの。

また、紋章は通常左右対称形が多いが、三重大学の自由で進取な校風を表す為に敢えて左右非対称形とした。「SINCE1874」は三重大学の前身である師範学校の創立年であり、現状の5学部の前身中最も古いものである。



安心感のある運営と改革

●学長のリーダーシップ

第3期中期目標に定められた“持続的な競争力と高い付加価値を生み出す大学の構築”と教職員の生活を守る大学運営に、リーダーシップを発揮します。

●分析企画力の向上

IR（機関調査）機能を強化し、適切な業務分析に基づく透明性のある大学改革を前進させます。

●財務基盤の強化

附属病院を効率的、安定的に経営し、大学の財務基盤を強化します。

社会の未来を創る高等教育

●大学の役割の明確化

地域圏唯一の国立大学法人としての役割を明確化し、三重大学の強みを活かした教育研究活動を実践します。

●リーダーの育成

本学のエデュケーション目標に掲げる「感じる力」、「考える力」、「コミュニケーション力」、「生きる力」を発揮し、社会を牽引する自立したリーダーを育てます。

●高度専門職業人の養成

教養教育の充実とともに学部専門教育、大学院教育の進展を図り、高い教養を持って社会で活躍する高度専門職業人を養成します。

女性・若手に優しいキャリア支援

●子育て世代に優しい職場環境

保育施設の整備、病児保育や学童保育の拡充、タイムシェアリングに取り組み、ワークライフバランスに配慮した家族と子どもに優しい環境を創ります。

●女性教職員の積極的登用

女性の視点を大切に、女性教職員のキャリア支援を推進します。

●若手教職員の成長支援

テニユアトラック制度、研究支援体制、教職員の能力向上を目指すSD/FDを充実させ、若手教職員の成長を支援します。

大学発の地域イノベーション

●地域活性化の拠点形成

地域活性化の中核的拠点機能の充実に向けて、地域イノベーションをさらに進展させます。

●産学官民連携の推進

産業界や行政、NPOへの積極的な支援と地域大学間ネットワークの構築を推進し、知的財産の創造、技術革新の創出を実現します。

●大学主導の地域創生

地場産業の振興、地域医療の充実、防災減災などの地域課題に取り組み、持続性のある魅力的な地域創生に貢献します。

多様で独創的な学術研究

●研究基盤の整備

日本の将来を拓く“研究の多様性”を維持し、研究者の持つ意欲・能力を最大化する研究実施基盤と研究費獲得基盤を整備します。

●多分野融合型研究の活性化

総合大学の強みと中規模大学の機動力を活かした多分野融合型研究を活性化させます。

●研究成果の社会への還元

研究成果を積極的に発信し、地域社会と国際社会の持続発展に寄与する大学を目指します。

自然と共生するグローバル・キャンパス

●教育研究環境のグローバル化

外国人留学生獲得と外国人教員招聘、海外拠点形成を強化し、グローバル・キャンパスを実現します。

●世界から評価される教育研究水準の達成

国際通用性のある教育、学生の留学、教職員の海外研修、国際共同研究を推進します。

●自然豊かなグリーン・キャンパス

学生と外国人留学生が、自然豊かで快適な環境で共に学ぶグリーン・キャンパスを目指します。



三重大大学を数字で見る

学部

5 学部 9 学科 1 課程

- 人文学部 文化学科、法律経済学科
- 教育学部 学校教育教員養成課程
- 医学部 医学科、看護学科
- 工学部 総合工学科
- 生物資源学部 資源循環学科、共生環境学科、生物圏生命化学科、海洋生物資源学科

大学院

6 研究科

- 人文社会科学研究科
- 工学研究科
- 教育学研究科
- 生物資源学研究科
- 医学系研究科
- 地域イノベーション学研究科

教職員数

(令和2年5月1日現在)

1,984 人

役員 9 人 教員 751 人

職員 1,224 人

学部学生数

(令和2年5月1日現在)

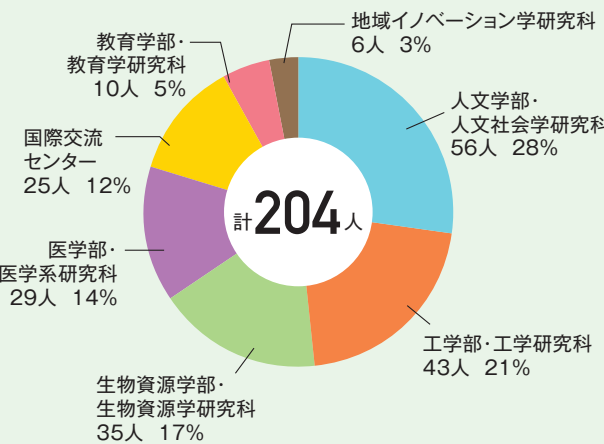
5,960 人

外国人留学生数

(令和2年5月1日現在)

204 人

外国人留学生数
(学部・研究科等別)



大学院学生数

(令和2年5月1日現在)

1,084 人

海外留学・派遣学生数

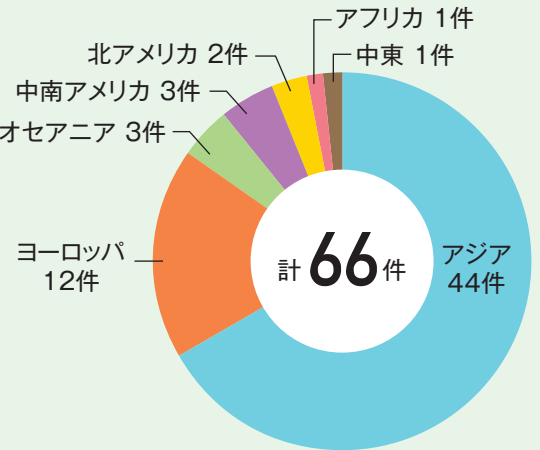
(令和元年度)

394 人

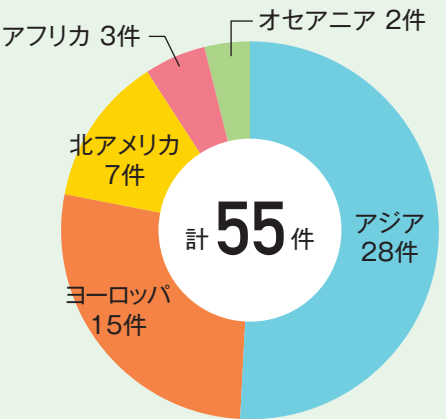
国際交流状況

(令和2年4月1日現在)

海外大学間協定数(25ヵ国)



海外大学学部間協定数(26ヵ国)



予算規模

(令和2年度)

収入・支出 47,812 百万円

民間企業等との共同研究件数

(令和元年度)

件数 2,004 件

金額 2,071 百万円

土地・建物面積

(令和2年4月1日現在)

土地面積 5,511,692 m²
(うち借受地 92,000m²)

建物面積 321,057 m²

附属図書館

和書 718,119 冊 洋書 229,861 冊

計 947,980 冊 (令和2年4月1日現在)

入館者総数 313,552 人 (令和元年度)

医学部附属病院

(令和元年度)

病床数 685 床

入院患者延数 211,641 人

外来患者延数 347,855 人

1日平均入院患者数 578.3 人

1日平均外来患者数 1,449.4 人